

二階俊博先生

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

これまでの一ヶ月にわたる新型コロナウイルスとの戦いを経て、中国にいる私たちはようやく最も困難な時期を乗り越えることができました。感染が拡大した当時、中国の医療物資不足の危機が差し迫っていたとき、私が「中国のために、必要な医療物資を日本で探していただけないか」と二階さん（衆議院議員 二階俊博様）にお尋ねしたところ、「親戚が病気に罹っているなら、救いの手を差し伸べるのは当たり前です。日本全国の力を集めて中国の皆様を助けます。」というお返事を頂いたことを、未だに覚えています。その後、二階さんが自ら各方面にお声がけされ、約12.5万着の防護服を調達して頂き、新型コロナウイルス対応の最前線で休みなく戦う中国の医療関係者にご提供くださいました。

日本からの数え切れない私心のない支援に中国の皆が感動し、感謝、感激しております。しかしながら、私たちの願いもむなしく、日本も現在厳しい困難に直面しています。今度はその困難をよく知る私たちが、友として、日本の皆様を何とかして助けたいと強く願っています。

そこで先日、私たちは100万枚のマスクを緊急調達し、二階さん宛てに寄贈しようと決意しました。ぜひ医療物資を必要としている日本の医療機関などにお渡しください。日本が一日も早く新型コロナウイルスとの戦いに打ち勝てるよう、心よりお祈り申し上げます。

今回のマスクは、アリババ公益基金会とジャック・マー公益基金会が共同で調達したものです。アリババだけではなく、多くの中国の人々からのささやかな気持ちでもあります。私たちはこれまで日本の皆様からいただいたご支援に心から感謝し、胸に刻んで、その恩に報いたいと思います。

現在、私たちは同じ困難に立ち向かっています。これからも相互に助け合うことで、共に困難を乗り越えられると信じています。

日本の平穏、中国の平穏を祈願し、改めて感謝の気持ちを申し上げます。

末筆ながら、日本の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

敬具

アリババ公益基金会
ジャック・マー公益基金会

